

## 出発

3回目のロシア遠征に向けて準備をしてきたつもりが、いざ出発となると何となく不安が過る。空港へ向かうタクシーの中で小さな声で気合いを入れる。よっしゃ！

今回はサンホゼ支部長の福西先生と同じフライトという事で、何となく安心する。勝手に自分から今回のロシア遠征に誘ってしまったので、奥様に怒られたのではないかなあ...、などと考えてしまう。雨で出発が遅れたが、座席に着くなりウトウトし始めた自分は遅れて出発した事を後で知った。

パリに着いたら乗り継ぎの時間が短

くて慌てたが、福西先生は平然としている。本当ギリギリでセントピーターズバーグ行きの便に乗る事が出来たが、自分一人だったら乗り遅れていたと思う。

客席を見回すが最高師範の姿を見付けられず不安な気持ちになる。セントピーターズバーグでタラップを降りてくる最高師範の姿を見てホッとす。兎に角着いた！空港で師範カリウス始め生徒の出迎えを受ける。懐かしい顔を見て心も和んだ。気合いを入れていこう！

## 1日目

午前中は船の上からセントピーターズバーグの観光。過去2回の遠征と違って、初夏と言っているような素晴らしい気候！船上から眺めるヨーロッパ調の建物、目が眩むような木々の緑、ちょっと冷たい風が心地良い。途中、最高師範が直井先生を立たせ、両手を広げさせる。タイタニックだ！と思い笑いながらすかさず写真を撮る。師範カリウスのお持て成しを心より感じ、感謝！

午後6時より形、武具の講習会。ここでいきなり立ち方を間違えて稽古していた事にきずかされる。前屈立ち一騎馬立ち一後屈立ち、この重心の移動と脚の動き、空手の奥深さに嬉しくなる。

皆の前で“回刃”を行う。自分の苦手な形だ。何が苦手か解っているのにそれを克服するまで稽古していない。やはりこのような場で思い知らされるのだ。感謝である。

## 2日目

子供の講習会と大人の組手講習会。

直井先生が準備運動をリードするが、声も動作も“あれっ”という感じで皆の気持ちを引き付けていない。最高師範師範は最初にその場の生徒だけでなく、見学している人達の気持ちもガチッと掴んでしまう。これが凄くて毎回驚いてしまう。“直井先生、共に頑張ろう！”と心で呟く。

脚の運びをメインに行われたが、自分の稽古不足を身体で理解させられる。技と脚の運びが少しは繋がってきてはいると感じるのだが、まだまだ。奥が深くて楽しくなる。

最高師範が説明をする時、極真会の道着をきた大きな男を前に立たせる。かなり組手では手強いと感じさせるものがある男だ。最高師範が腰を落として構えると、相手は重心が上がり体重が踵に移ったのが分かった。顔の表情も緊張するのが分かった。最高師範の構えからプレッシャーを受けたのだろうが、側から見ていてこれは凄かった！

講習会の後、師範カリウスの家に伺う。ここで地上最強の空手パート2を観る。何回となく観ているが、総主の若き日の勇姿を観て思わず目頭が熱くなってしまった。総主の内弟子として指導を受け、今最高師範から御指導頂ける自分は本当に恵まれていると、ここロシアの地で心の底より感じた。

この晩、福西先生とチェイスの3人で軽いディナーを取りに行く。時間が遅かったので、ビールと軽く摘めるものという事で選んだのが寿司。“Ginza”という結構高級なお店だが、寿司は...？結果、かなり美味しいものだった。ネタの切り方大きさ、シャリの味に硬さ。参りました！という感じで最終日への元気を蓄えました。

### 3日目

審査。審査を受けている生徒を見て、自分の生徒と重なる。もっと自分が動いて、見せて指導しないと反省。日頃の指導に怠慢な姿勢が無いようにしなければ！

ここ最近よく見る大会での構えで闘う人が多いのが気になる。顔面無しの大会ルールではこれが有効なのだろうか？ ちょっと空手の世界をせばめているように感じてしまう。でも皆タフである。気持ちの強さは素晴らしい。

夜にはレストランを貸し切りでパーティを開いて頂く。豊かな人脈があってこそ出来る事だと、勉強になりました。最高師範も踊り歌い、ロシア大山空手のメンバーと心の繋がりが深まるひと時となりました。福西先生のダンスは最高！新しい顔を見たようで面白かった。直井先生もチェイスも、ここでの経験をどう活かしていくか。自分にとってももっと大きな責任感を持っていく、そんな決意を心の奥に灯してくれる旅となりました。この機会を与えてくれた最高師範に心より感謝致します。

帰りのフライトは隣の2席が空いており、ゆったりと帰らせていただきました。

押忍!! 齊藤 武



